

21. 学芸員資格の取得について

学芸員課程設置の目的

本課程は、博物館法に基づき、博物館や美術館などの運営にあたる専門職員である学芸員を養成することを目的とする。

学芸員の職務

博物館法に基づく博物館及び博物館相当施設において、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究と関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

学芸員の資格

学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したものは、学芸員となる資格を有する。

平成28年度以後入学者

博物館に関する科目は、次の表に従って履修すること。

【注】表の内容（授業科目、開講時限等）の変更は掲示にてお知らせします。

学芸員資格取得希望者は必ずこまめに掲示板を確認するよう心がけてください。

博物館法施行規則に定める科目		本学における授業科目		備 考	
科目	単位数	授 業 科 目 名	必要単位数		
必修科目	生涯学習概論	2	(H30以降入学者) 生涯学習論A (H28・29入学者) 生涯学習社会論(1)	1	教育学部開講科目（シラバスで確認すること。） 生涯学習論A 生涯学習社会論(1) 生涯学習社会論(2) (1)と(2)は、2科目を合わせて履修・修得すべき科目で履修順序を示します。 *平成30年度以降入学生対象の生涯学習社会論は文学部専門科目です。
			(H30以降入学者) 生涯学習社会論 (H28・29入学者) 生涯学習社会論(2)	1	
	博物館概論	2	博物館概論a	1	★博物館実習履修のための修得必要科目
			博物館概論b	1	★博物館実習履修のための修得必要科目
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	★博物館実習履修のための修得必要科目
	博物館資料論	2	博物館資料論a	1	★博物館実習履修のための修得必要科目
			博物館資料論b	1	★博物館実習履修のための修得必要科目
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論a	1	
			博物館資料保存論b	1	
	博物館展示論	2	博物館展示論a	1	
			博物館展示論b	1	
	博物館教育論	2	博物館による学習支援a	1	
			博物館による学習支援b	1	
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論a	1	
博物館情報・メディア論b			1		
博物館実習	3	人文系博物館実習a	1	・文学部、教育学部及び理学部の学生で本備考欄の“★博物館実習履修のための修得必要科目”を全て修得した者の中から40名が受講できる。40名を超える場合は、“★博物館実習履修のための修得必要科目”の合計12単位の成績平均点により選抜する。 ・末尾の（注）をよく確認すること。	
		人文系博物館実習b	1		
		人文系博物館実習c	1		

（次項に続く）

				(前項より)
選 択 科 目	文化史・美術 史・考古学	人類学 人文学概説 (日本史 1 a) 人文学概説 (日本史 1 b) 人文学概説 (日本史 2 a) 人文学概説 (日本史 2 b) 人文学概説 (アジア史 1 a) 人文学概説 (アジア史 1 b) 人文学概説 (アジア史 2 a) 人文学概説 (アジア史 2 b) 人文学概説 (西洋史 1 a) 人文学概説 (西洋史 1 b) 人文学概説 (西洋史 2 a) 人文学概説 (西洋史 2 b) 人文学概説 (考古学 1 a) 人文学概説 (考古学 1 b) 人文学概説 (考古学 2 a) 人文学概説 (考古学 2 b) 人文学概説 (文化人類学 a) 人文学概説 (文化人類学 b) 人文学概説 (西洋美術史 a) 人文学概説 (西洋美術史 b) 人文学概説 (日本美術史 a) 人文学概説 (日本美術史 b)	6	左記のうちから 6科目6単位 (人類学を履修した場合は 5科目6単位) を選択すること。 ◎重複履修可の科目を複数回修得しても1科目の修得と数えるので注意すること。 ★博物館実習履修のための修得必要科目 必要な科目数及び単位数：6科目6単位 (人類学を履修した場合は 5科目6単位)

(注) 博物館実習の履修手続について

博物館実習の履修を希望する学生は、上表備考欄 “★博物館実習履修のための修得必要科目” 1 1 科目 1 2 単位 (選択科目で人類学を履修した場合は **1 0 科目 1 2 単位**) を全て修得した者とし、履修登録とは別に履修希望願を提出しなければなりません。

履修希望願の提出期限については、毎年度掲示により指示します。

履修許可の認定は、文学部学芸員課程専門委員会において行い、その結果については掲示により通知します。

履修を許可された者は、その年度に「人文系博物館実習」の履修登録を行わなければなりません。

22. 公認心理師試験受験資格について

公認心理師資格試験を受験するためには、大学学部において公認心理師となるために必要な科目を修得した上で卒業し、かつその後に、(1)一定期間の実務経験を積むか、(2)大学院において公認心理師となるために必要な科目を修得した上で修了する必要があります。

公認心理師となるために必要な学部科目は、次の表に従って履修すること。

【注】表の内容（授業科目等）の変更は掲示にてお知らせします。公認心理師試験受験資格取得希望者は必ずこまめに掲示板を確認するよう心がけてください。

【注】公認心理師となるために必要な科目については履修制限を行うことがあります。公認心理師試験受験資格取得希望者は4月に行われるオリエンテーション・説明会に必ず出席してください。

公認心理師法施行規則に定める科目	本学における授業科目	単位	備考
公認心理師の職責	■人文学講義(公認心理師の職責)	1	
心理学概論	人文学概説(心理学概論 a)	1	
	人文学概説(心理学概論 b)	1	
臨床心理学概論	■人文学概説(臨床心理学概論 a)	1	
	■人文学概説(臨床心理学概論 b)	1	
心理学研究法	実践演習(心理学研究法)	1	
心理学統計法	実践演習(心理学統計法 a)	1	
	実践演習(心理学統計法 b)	1	
心理学実験	実践演習(心理学実験 a)	1.5	2科目選択必修
	実践演習(心理学実験 a)	1.5	
	実践演習(心理学実験 b)	1.5	
知覚・認知心理学	人文学講義(知覚・認知心理学 a)	1	
	人文学講義(知覚・認知心理学 b)	1	
学習・言語心理学	人文学講義(学習・言語心理学 a)	1	
	人文学講義(学習・言語心理学 b)	1	
感情・人格心理学	■人文学概説(感情・人格心理学 a)	1	
	■人文学概説(感情・人格心理学 b)	1	
神経・生理心理学	■人文学概説(神経・生理心理学 a)	1	
	■人文学概説(神経・生理心理学 b)	1	
社会・集団・家族心理学	人文学講義(社会・集団・家族心理学 a)	1	
	人文学講義(社会・集団・家族心理学 b)	1	
発達心理学	■人文学講義(発達心理学 a)	1	
	■人文学講義(発達心理学 b)	1	
障害者・障害児心理学	■人文学講義(障害者・障害児心理学 a)	1	
	■人文学講義(障害者・障害児心理学 b)	1	
心理的アセスメント	実践演習(心理的アセスメント a)	1	
	実践演習(心理的アセスメント b)	1	

(次頁に続く)

(前頁より)

心理学的支援法	■人文学講義(心理学的支援法 a)	1	
	■人文学講義(心理学的支援法 b)	1	
健康・医療心理学	■人文学講義(健康・医療心理学 a)	1	
	■人文学講義(健康・医療心理学 b)	1	
福祉心理学	■人文学講義(福祉心理学a)	1	
	■人文学講義(福祉心理学b)	1	
教育・学校心理学	人文学講義(教育・学校心理学 a)	1	
	人文学講義(教育・学校心理学b)	1	
司法・犯罪心理学	■人文学講義(司法・犯罪心理学)	1	
産業・組織心理学	人文学講義(産業・組織心理学)	1	
人体の構造と機能及び疾病	人文学講義(人体の構造と機能及び疾病 a)	1	
	人文学講義(人体の構造と機能及び疾病b)	1	
精神疾患とその治療	■人文学講義(精神疾患とその治療 a)	1	
	■人文学講義(精神疾患とその治療 b)	1	
関係行政論	人文学講義(関係行政論 a)	1	
	人文学講義(関係行政論 b)	1	
実習演習科目			
心理演習	実践演習(心理演習 a)	1	
	実践演習(心理演習 b)	1	
心理実習(80 時間以上)	実践演習(心理実習)	4	

「実習演習科目」の履修手続きについて

心理演習及び心理実習を履修する学生は、上表の■を付した科目を全て修得した者とし、履修登録とは別に、定められた手続きにより期限までに履修申込みをする必要があります。なお、履修希望者数が法律に基づく定員を超えた場合には、■のついた科目の成績により選考を行います。